

# FMV

## FMV- 6750CL7s

# ハードウェアガイド・ダイジェスト

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書では次の項目を説明しています。

はじめに .....	3
添付のマニュアルについて .....	3
製品の呼びかた .....	3
FMV マニュアルの参照 .....	3
各部の名称と働き .....	4
パソコン本体前面 .....	4
パソコン本体背面 .....	4
設置について .....	5
設置する場所 .....	5
フットを取り付ける .....	5
設置例 .....	6
接続について .....	7
ディスプレイ／キーボード／マウス／LAN ケーブルを接続する .....	7
電源ケーブルを接続する .....	8
電源を入れる .....	9
注意事項 .....	9
電源の入れかた .....	10
電源を切る .....	10
注意事項 .....	10
電源の切りかた .....	10
ディスプレイの交換 .....	12
画面に何も表示されないときは .....	12
BIOS をご購入時の設定に戻す .....	13
BIOS が表示するメッセージ一覧 .....	13
メッセージが表示されたときは .....	13
メッセージ一覧 .....	13

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本パソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本パソコンをお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本パソコンをお使いください。また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本パソコンの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

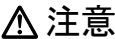
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。




・原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

## ■警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。
--	--

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

# はじめに

## 添付のマニュアルについて

本パソコンには、次のマニュアルが添付されています。

●はじめにお読みください

梱包物一覧、および最初に行う操作などを説明しています。

●ハードウェアガイド・ダイジェスト（本書）


パソコン本体の各部の名称、電源の入れ方など、『ハードウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。

なお、お使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

●ソフトウェアガイド・ダイジェスト

Windows のセットアップ方法、リカバリ方法など、『ソフトウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。

なお、お使いの機種以外の情報もありますが、ご了承ください。

●FMV マニュアル（ P.3）

PDF 形式のファイルとして、「ドライバーズ CD / マニュアル CD」に収録しています。

『ハードウェアガイド』や『ソフトウェアガイド』など、本パソコンの使いかたを説明したマニュアルを用意しています。状況に応じてご覧ください。

## 製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows 98
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT
ドライバーズ CD / マニュアル CD	ドライバーズ CD

## FMV マニュアルの参照

本書に記載されていない内容は、『ハードウェアガイド』と『ソフトウェアガイド』に記載されています。これらは「ドライバーズ CD」内の「FMV マニュアル」（Manual.pdf）からご覧になれます。

### 重要

- ▶ 周辺機器の取り付けなど、パソコン本体の電源を切ってから行う操作の場合は、事前に該当するページを印刷するか、他の装置で参照してください。
- ▶ 「FMV マニュアル」をハードディスクにコピーして使用する場合は、「ドライバーズ CD」内の「Manual.pdf」と「Manual」フォルダを同一フォルダにコピーしてください。

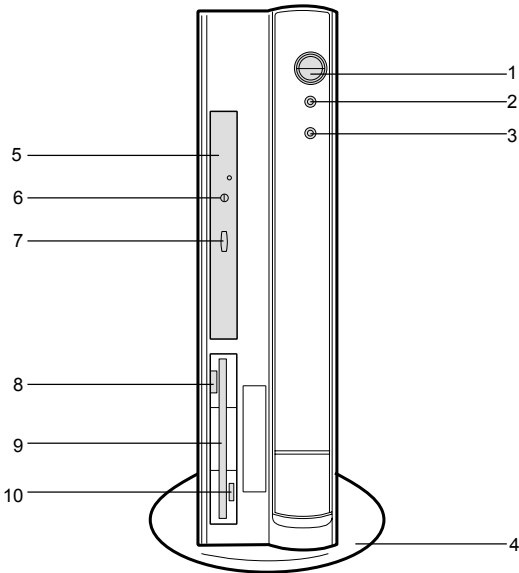
- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。  
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 CD-ROM のドライブアイコンをダブルクリックし、「Manual.pdf」をダブルクリックします。  
Acrobat Reader 4.0 が起動し、目次が表示されます。
- 4 参照したいマニュアルの名称をクリックします。

### 重要

- ▶ CD-ROM ドライブを搭載していない装置の場合は、他の装置で参照するか、ネットワーク上の共有ドライブで参照してください。

## 各部の名称と働き

### パソコン本体前面



#### 1 電源スイッチ

パソコン本体の電源を入れるときや切るとき、スタンバイ（省電力状態）にするときに押します。

#### 2 電源ランプ

パソコン本体に電源が入っているときに点灯します。動作しているときは緑色に、スタンバイのときはオレンジ色に点灯します。

#### 3 ハードディスクアクセス表示ランプ

ハードディスクにデータを書き込んだり、ハードディスクからデータを読み出ししたりしているときに点灯します。

#### 4 フット

本パソコンをお使いになるときにに取り付ける台座です。縦置きするときには、転倒防止となります。

#### 5 CD-ROM ドライブ（CD-ROM 搭載モデル）

CD-ROM のデータやプログラムを読み出ししたり、音楽CDを再生したりします。

#### 6 BUSY ランプ（CD-ROM 搭載モデル）

CD-ROMからデータを読み込んでいたり音楽CDを再生しているときに点灯します。

#### 7 EJECT ボタン（CD-ROM 搭載モデル）

CD-ROMや音楽CDをセットするときや取り出すときに押します。パソコン本体の電源が入っているときにお使いになれます。BUSY ランプが点灯しているときは、押さないでください。

#### 8 フロッピーディスク取り出しボタン

フロッピーディスクを取り出すときに押します。フロッピーディスクアクセス表示ランプが点灯しているときは、押さないでください。

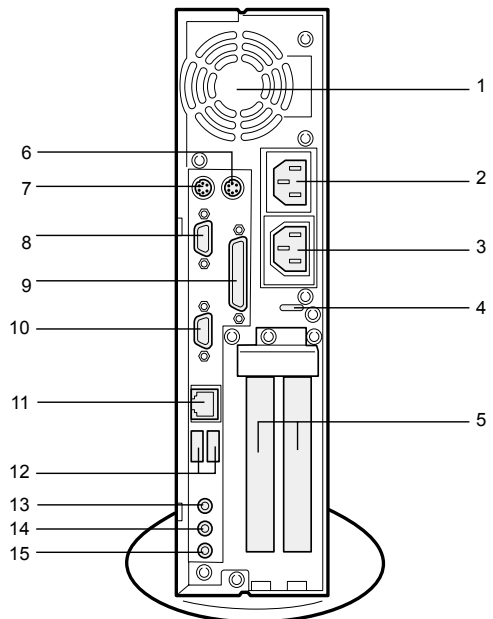
#### 9 フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクをセットしてデータを書き込んだり、読み出ししたりします。

#### 10 フロッピーディスクアクセス表示ランプ

フロッピーディスクにデータを書き込んだり、フロッピーディスクからデータを読み出ししたりしているときに点灯します。

### パソコン本体背面



#### 1 通風孔

パソコン本体内部の熱を外部に逃がすための開孔部です。

#### 2 インレット

パソコン本体の電源ケーブルを接続します。

#### 3 アウトレット

ディスプレイの電源ケーブルを接続します。

#### 4 盗難防止用ロック

パソコン内部の装置を盗難から守るため、鍵を取り付けます。

※接続に関しては、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

#### 5 拡張スロット

本パソコンの機能を拡張する各種オプションカードを取り付けます。

PCI カードを取り付けることができます。

## 6 マウスコネクタ

マウスを接続します。

## 7 キーボードコネクタ

キーボードを接続します。

## 8 シリアルコネクタ

RS-232C 規格に対応した機器のケーブルを接続します。

## 9 パラレルコネクタ

プリンタやスキャナなどのケーブルを接続します。

## 10 CRT コネクタ

アナログ RGB 規格のディスプレイケーブルを接続します。

## 11 LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。

## 12 USB コネクタ

USB 規格の周辺機器を接続します。

※接続に関しては、『ハードウェアガイド』をご覧ください。

## 13 LINE OUT 端子

サウンド出力用端子。オーディオ機器の入力端子を接続します。

スピーカを直接接続する場合は、アンプ機能内蔵のものをお使いください。

## 14 LINE IN 端子

サウンド入力用端子。オーディオ機器の出力端子を接続します。

## 15 マイク端子

市販のコンデンサマイクを接続します。

## 設置について

### 設置する場所

本パソコンを設置する場合は、次の場所は避けてください。

- 湿気やほこり、油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- 10℃未満の低温になる場所
- 電源ケーブルなどのケーブルが足に引っかかる場所
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所

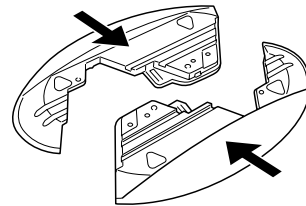
### フットを取り付ける

#### ■ 縦置き

#### □ フットを2つ使う場合 (ダブル)

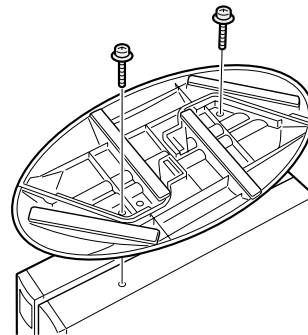
本パソコンを壁などに接しないで縦置きする場合、次の手順で取り付けてください。

#### 1 フットを組み立てます。



#### 2 パソコン本体にフットを取り付けます。

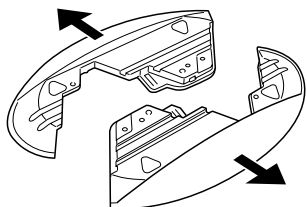
フット背面にある「DOUBLE」と書かれたネジ穴 (2ヶ所) に、ネジで固定します。



## □フットを1つ使う場合（シングル）

本パソコンを壁などに接して縦置きする場合、次の手順で取り付けてください。

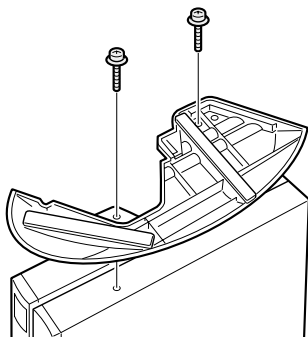
### 1 フットを分解します。



### 2 パソコン本体に分解した片方のフットを取り付けます。

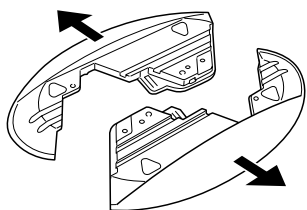
フット背面にある「SINGLE」と書かれたネジ穴（2ヶ所）に、ネジで固定します。

縦置きしたとき、壁などがパソコン本体の右側になるようにフットを取り付けます。

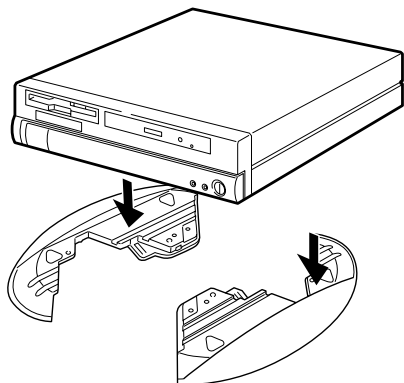


## ■横置き

### 1 フットを分解します。

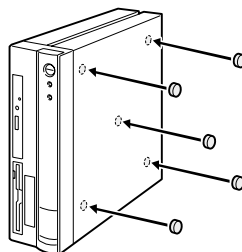


### 2 分解したフットの上にパソコン本体を載せます。



## POINT

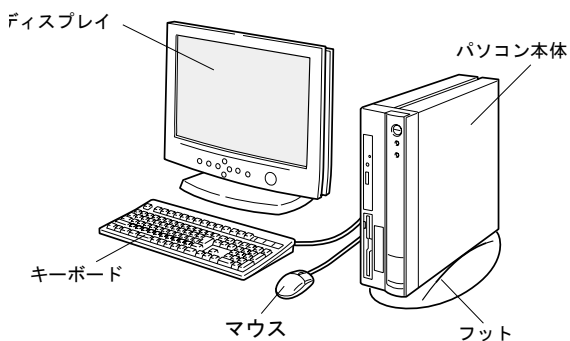
- ▶ 横置きする場合、パソコン本体の4隅と中央に添付のゴム足（5個）を取り付けて設置することもできます。ゴム足を取り付ける場合、縦置きするときのフットに接触しない位置に取り付けてください。パソコン本体のゴム足を取り付ける部分は、ほこりなどをふきとってから取り付けてください。ゴム足を取り付けたあとにパソコン本体を移動する場合、ゴム足をひきずらないでください。



## 設置例

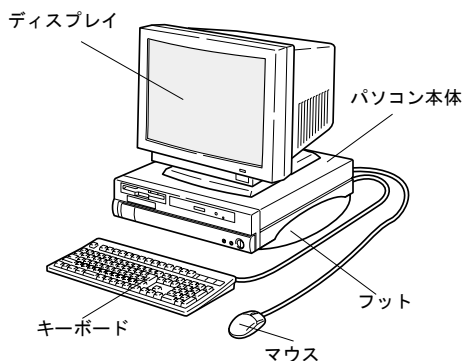
本パソコンは次のように設置してください。パソコン本体は次の図のように縦置き、または横置きにすることができます。設置の際は、パソコン本体背面にある通風孔をふさがないように注意してください。

### ■縦置き



## ■横置き

17 型以下（ただし、19kg 以下）のディスプレイのみパソコン本体の上に乗せることができます。



### POINT

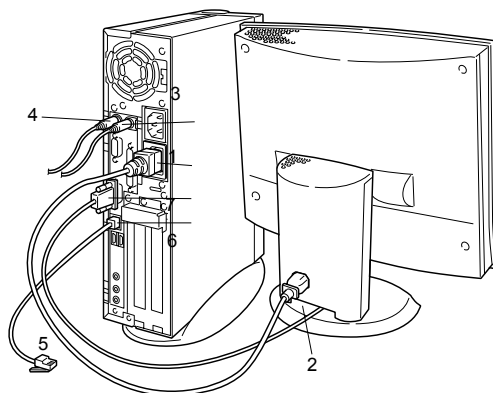
▶ これ以降の記述については、縦置きを前提としています。横置きにする場合は、読みかえてください。

## 接続について

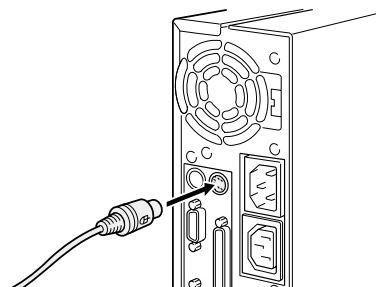
### ディスプレイ／キーボード／マウス／LAN ケーブルを接続する

#### POINT

▶ LAN ケーブルは、別売のツイストペアケーブルをご購入のうえ、お使いください。

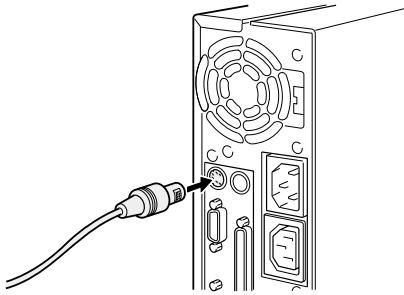


- 1 電源ケーブルをアウトレットに接続します。**  
添付の電源ケーブル（ディスプレイ用）の片方のプラグを、パソコン本体のアウトレットに接続します。
- 2 電源ケーブルをディスプレイに接続します。**  
添付の電源ケーブル（ディスプレイ用）の片方のプラグを、ディスプレイ背面のインレットに接続します。
- 3 マウスを接続します。**  
マウスケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右向きにして、マウスコネクタの色とパソコン本体背面のマウスラベルの色が合うように接続します。



#### 4 キーボードを接続します。

キーボードケーブルのコネクタに刻印されているマークの面を右向きにして、キーボードコネクタの色とパソコン本体背面のキーボードラベルの色が合うように接続します。



#### 5 LAN ケーブルを接続します。

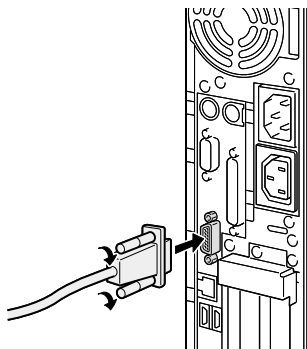
別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタを、ハブユニットなどのネットワークのコネクタに接続します。

#### 6 LAN ケーブルをネットワークに接続します。

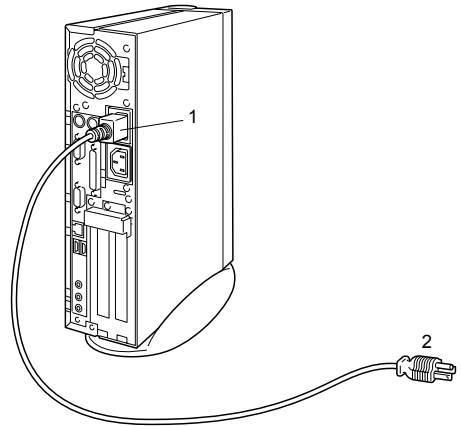
別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタをパソコン本体背面の LAN コネクタに接続します。

#### 7 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。

ケーブルのコネクタを、パソコン本体背面のディスプレイコネクタ (CRT 用) に接続して、ケーブルのコネクタのネジを締めます。



- 電源ケーブルは、家庭用電源 (AC100V) に接続してください。
- 電源ケーブルは、タコ足配線をししないでください。また、キーボードケーブルやマウスケーブルとからまないようにしてください。
- 近くで雷が起きたときは、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 2 ピンのコンセントに接続する場合は、添付のアダプタプラグをお使いになり、必ずアース線を接続してください。
- プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。
- プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 長期間お使いにならないときは、安全のため必ずプラグをコンセントから抜いてください。

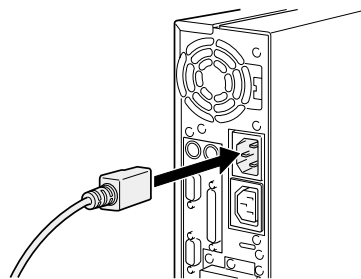


- 1 電源ケーブルのプラグをパソコン本体背面のインレットに接続します。

## 電源ケーブルを接続する

ディスプレイなどの周辺装置を接続したら、次の点に注意して電源ケーブルを接続してください。

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
- 重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないでください。
- 電源ケーブルやプラグが傷んだときやコンセントの差し込み口がゆるいときは、お使いにならないでください。
- プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、かわいた布でよく拭いてください。

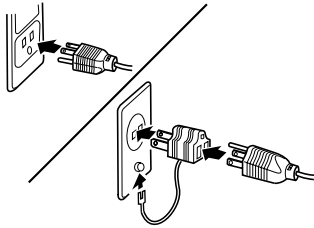




## 2 電源ケーブルのプラグをコンセント（AC100V）に接続します。

片方のプラグを、コンセントに接続します。コンセントが2ピンの場合は、添付のアダプタプラグを取り付けてから、コンセントに接続します。

アダプタプラグに付いているアース線を、アース端子のネジにネジ止めます。



## 電源を入れる

### 注意事項

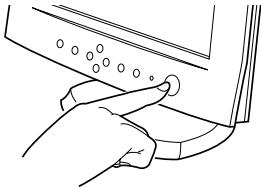
- 電源ランプは、スタンバイ状態になるとオレンジ色に点灯します。
- パソコン本体の電源を入れる前に、必ずディスプレイが接続されていることを確認してください。ディスプレイを接続しないでパソコン本体の電源を入れると、ディスプレイが認識されず、画面が正常に表示されない場合があります。
- ディスプレイの電源ケーブルを本パソコンに接続している場合、ディスプレイの電源は本パソコンの電源と連動して入ります。そのため、ディスプレイの電源スイッチは一度押しておけば、以後操作する必要はありません。次回からは手順2の本体の電源スイッチを押すだけで電源が入ります。
- 画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整してください。
- 電源を入れたあとすぐに電源を切る場合は、OS が起動してから「電源を切る」(▶▶ P.10) に従って電源を切ってください。
- 画面表示の開始や表示モードが切り替わるとき、一時的に画面が乱れたり、横線が見える場合があります（Windowsの起動・終了画面、省電力モードからの復帰時など）。これは故障ではありませんので、そのままお使いください。
- 電源を入れたあと、ディスプレイにFUJITSUロゴが表示されている間に、本パソコンは、パソコン内部の装置をチェックする「POST（ポスト：Power On Self Test）」を行います。POST中は電源を切らないでください。POSTの結果、異常があればエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージについては「BIOSが表示するメッセージ一覧」(▶▶ P.13)をご覧ください。
- 周辺機器の取り付けなどのとき、アッパーカバーを取り外したまま電源を入れないでください。

### ⚠ 注意

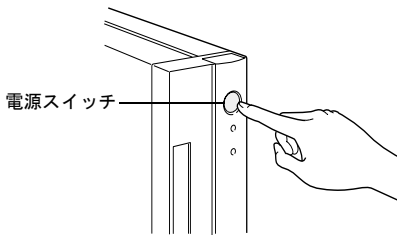


- 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。

- 1 ディスプレイの電源スイッチを押します。  
この時点では、画面に何も表示されません。



- 2 本体の電源スイッチを押します。  
ディスプレイと本体の電源ランプが緑色に点灯します。電源が入ると、ディスプレイに FUJITSU ロゴが表示され、その後システムが起動します。



電源を入れたあとは、Windows のセットアップを行います（●▶『ソフトウェアガイド・ダイジェスト』参照）。

### 注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切る前に、フロッピーディスクやハードディスクのアクセス表示ランプ（●▶ P.4）が消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかったり、フロッピーディスクやハードディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。
- 電源が入っている状態で、電源ケーブルをコンセントから抜いたり、停電によって電源が切断された場合は、再び電源ケーブルをコンセントに差し込むか、復電するのを待ってください。電源スイッチを押す必要はありません。復電すると自動的に電源が入り、本パソコンが起動されます。ただし、BIOS セットアップの「省電力設定」－「AC 通電再開時の動作」（●▶『ハードウェアガイド』参照）が「電源 Off」に設定されている場合は、電源が入りません。
- POST（自己診断）時に電源を切らないでください。OS が完全に起動されてから、後述の手順で切ってください。
- 通常の手段で電源が切れなかった場合や再起動できなかった場合、4 秒以上電源スイッチを押し続けて、電源を切ってください。ただし、電源スイッチを 4 秒以上押し続けて電源を切ると、ハードディスクを破壊するおそれがあります。緊急の場合以外は行わないでください。
- 電源を切ったあとすぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。

### 電源の切りかた

#### ■ Windows Me の場合

- 1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」の順にクリックします。  
「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「終了」を選択し、「OK」をクリックします。  
電源が自動的に切れます。

#### 🔍 POINT

- ▶ 次のように電源を切ることもできます。
  1. 【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 キーを押します。  
「プログラムの強制終了」ダイアログボックスが表示されます。
  2. 「シャットダウン」をクリックします。  
電源が自動的に切れます。

## ■Windows 98 の場合

- 1 「スタート」ボタン→「Windows の終了」の順にクリックします。

「Windows の終了」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「コンピュータの電源を切れる状態にする」または「電源を切れる状態にする」をクリックし、「はい」または「OK」をクリックします。

電源が自動的に切れます。

### POINT

▶ 次のように電源を切ることもできます。

1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。

「プログラムの強制終了」ダイアログボックスが表示されます。

2. 「シャットダウン」をクリックします。

電源が自動的に切れます。

## ■Windows 2000 の場合

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。

「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。

電源が自動的に切れます。

### POINT

▶ 次のように電源を切ることもできます。

1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。

「Windows のセキュリティ」ダイアログボックスが表示されます。

2. 「シャットダウン」をクリックします。

「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。

電源が自動的に切れます。

## ■Windows NT の場合

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。

「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 「コンピュータをシャットダウンする」をクリックし、「はい」をクリックします。

電源が自動的に切れます。

### POINT

▶ 次のように電源を切ることもできます。

1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。

「Windows NT のセキュリティ」ダイアログボックスが表示されます。

2. 「シャットダウン」をクリックします。

「コンピュータのシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「シャットダウン後、電源を切る」をクリックし、「OK」をクリックします。

電源が自動的に切れます。

## ディスプレイの交換

仕様の異なるディスプレイ（特に液晶ディスプレイ）に交換する場合、画面が表示されないなどの表示異常が発生する場合があります。その場合、次の手順でディスプレイを交換してください。

### ■Windows Me/98 モデルの場合

- 1 解像度を 640 × 480 に設定します（ディスプレイ交換前）。
- 2 リフレッシュレートを「アダプタの既定値」または「アダプタの標準」に設定します。
- 3 Windows を終了させてパソコン本体の電源を切り、ディスプレイを交換します。

上記設定を行わずにディスプレイを交換して、画面が表示されない、または表示できない解像度がある場合、次の手順でディスプレイドライバを再インストールしてください。

- 1 Windows を Safe モードで起動します。
- 2 グラフィックアダプタを「標準ディスプレイアダプタ (VGA)」または「標準 VGA」に設定して、再起動します。
- 3 ディスプレイドライバを再インストールします。

### ■Windows 2000 モデルの場合

- 1 解像度を 640 × 480 にします。
- 2 リフレッシュレートを 60Hz に設定します。
- 3 Windows を終了させてパソコン本体の電源を切り、ディスプレイを交換します。

上記設定を行わずにディスプレイを交換して、画面が表示されない、または表示できない解像度がある場合、次の手順でディスプレイドライバを再インストールしてください。

- 1 Windows を「VGA モードを有効にする」で起動します。
- 2 ディスプレイドライバを再インストールします。

### ■Windows NT モデルの場合

- 1 パソコンの電源を切り、ディスプレイを交換します。
- 2 Windows NT Workstation Version4.00 [VGA mode] で起動します。
- 3 ディスプレイの仕様に合わせて解像度、色数、リフレッシュレートを設定し、再起動します。

## 画面に何も表示されないときは

画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。

- ディスプレイの電源スイッチは入っていますか。
- 省電力モードが設定されていませんか。  
マウスを動かすか、どれかキーを押してください。電源ランプがオレンジ色になっている場合、ACPI モードの S3 に移行している可能性があります。電源スイッチを押してください。電源スイッチを押してから 30 秒以上たっても画面に何も表示されない場合、電源スイッチを 4 秒以上押し続け、電源を一度切ってください。
- ディスプレイのケーブルは、正しく接続されていますか。
- ディスプレイの電源ケーブルは、アウトレットに接続されていますか。

### ⚠ 注意



- ケーブルは、必ず電源を切ってから接続し直してください。感電の原因になります。

- ディスプレイのブライトネス/コントラストボリュームは正しく接続されていますか。  
ブライトネス/コントラストボリュームで画面を調節してください。
- メモリ等の増設したユニットは、正しく搭載されていますか。

## BIOS をご購入時の設定に戻す

「標準設定」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行したあとに、次の設定を変更してください。なお、Windows Me/98 の場合、設定変更の必要はありません。

### ●Windows 2000 の場合

- ・「詳細」－「PnP/PCI 設定」－「プラグアンドプレイ対応 OS」：いいえ

### ●Windows NT の場合

- ・「詳細」－「省電力設定」－「省電力モード」－「ハードディスク省電力」：15Min
- ・「詳細」－「省電力設定」－「省電力モード」－「ディスプレイ省電力」：30Min
- ・「詳細」－「PnP/PCI 設定」－「プラグアンドプレイ対応 OS」：いいえ

## BIOS が表示するメッセージ一覧

### メッセージが表示されたときは

「メッセージ一覧」(▶▶ P.13)に記載の処置や次の処置を行ってください。

#### ●BIOS セットアップを実行する

BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示された場合は、BIOS セットアップを再実行してください。

#### ●周辺機器の取り付けを確認する

拡張カードなどを取り付けているときは、それらが正しく取り付けられているか確認してください。また、カードの割り込み要求など正しく設定されているかどうかも確認してください。このとき、拡張カードに添付のマニュアルや、ユーティリティソフトがある場合は、それらのマニュアルもあわせてご覧ください。

処置を実施しても、まだエラーメッセージが発生する場合は、本パソコンが故障している可能性があります。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

### メッセージ一覧

本パソコンが表示するメッセージの一覧は、次のとおりです。

#### ●BIOS ROM checksum error - System halted.

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

#### ●CMOS CHECKSUM ERROR

【F2】キーを押して、BIOS セットアップを起動し、BIOS 設定を標準設定値に戻してください。

それでも改善されない場合、バッテリーの交換が必要です。「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

#### ●DISK BOOT FAILURE,INSERT SYSTEM DISK AND PRESS ENTER

フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、【Enter】を押してください。

#### ●DISKETTE DRIVES OR TYPES MISMATCH ERROR - RUN SETUP

フロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されているときは、BIOS セットアップを起動して、フロッピーディスクドライブの種類が正しく設定されているかを確認してください。

#### ●DISPLAY SWITCH IS SET INCORRECTLY

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **DISPLAY TYPE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **EISA Configuration Checksum Error**

**PLEASE RUN EISA CONFIGURATION UTILITY**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **EISA Configuration Is Not Complete**

**PLEASE RUN EISA CONFIGURATION UTILITY**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **ERROR ENCOUNTERED INITIALIZING HARD DRIVE**

【F2】 キーを押して、BIOS セットアップを起動し、パソコン本体の環境（システム構成）と BIOS セットアップの設定が正しいか、確認してください。

● **ERROR INITIALIZING HARD DISK CONTROLLER**

【F2】 キーを押して、BIOS セットアップを起動し、IDE ドライブの設定が正しく行われているかを確認してください。

● **FLOPPY DISK CNTRLR ERROR OR NO CNTRLR PRESENT**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **FLOPPY DISK(S) fail (80)**

**FLOPPY DISK(S) fail (40)**

フロッピーディスクドライブが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されているときは、BIOS セットアップを起動して、フロッピーディスクドライブの種類が正しく設定されているかを確認してください。

● **Hard Disk(s) fail (80)**

**Hard Disk(s) fail (40)**

**Hard Disk(s) fail (20)**

**Hard Disk(s) fail (10)**

**Hard Disk (s) fail (08)**

【F2】 キーを押して、BIOS セットアップを起動し、パソコン本体の環境（システム構成）と BIOS セットアップの設定が正しいか、確認してください。

● **Invalid EISA Configuration**

**PLEASE RUN EISA CONFIGURATION UTILITY**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **KEYBOARD ERROR OR NO KEYBOARD PRESENT**

キーボードが正しく接続されているかを確認してください。

● **Keyboard is locked out - Unlock the key.**

キーボードが正しく接続されているかを確認してください。

● **Manufacturing POST loop.**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **Memory Address Error at...**

メモリが正しく取り付けられているかを確認してください。

● **Memory parity Error at...**

メモリが正しく取り付けられているかを確認してください。

● **MEMORY SIZE HAS CHANGED SINCE LAST BOOT**

メモリが正しく取り付けられているかを確認してください。

● **Memory test fail.**

メモリが正しく取り付けられているかを確認してください。

● **Memory Verify Error at...**

メモリが正しく取り付けられているかを確認してください。

● **OFFENDING ADDRESS NOT FOUND**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **OFFENDING SEGMENT:**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **PRESS A KEY TO REBOOT**

キーボードのキーのどれかを押してください。本パソコンが再起動します。

● **PRESS F1 TO DISABLE NMI,F2 TO REBOOT**

【F1】 キーを押して先に進めるか、または【F2】 キーを押して、本パソコンを再起動してください。

● **RAM PARITY ERROR - CHECKING FOR SEGMENT...**

メモリが正しく取り付けられているかを確認してください。

● **Should Be Empty But EISA Board Found**

**PLEASE RUN EISA CONFIGURATION UTILITY**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **Should Have EISA Board But Not Found**

**PLEASE RUN EISA CONFIGURATION UTILITY**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **Slot Not Empty**

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

● **SYSTEM HALTED, (CTRL-ALT-DEL) TO REBOOT...**

【Ctrl】 + 【Alt】 + 【Delete】 キーを押して、本パソコンを再起動してください。

●Wrong Board In Slot

PLEASE RUN EISA CONFIGURATION UTILITY

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

●PXE-E61:Media test failure, Check cable

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。LAN ケーブルが正しく接続されていません。LAN ケーブルを正しく接続してください。

●PXE-E51:No DHCP or BOOTP offers received

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。起動時に必要な IP アドレスが取得できませんでした。DHCP サーバを正しく設定するか、BIOS セットアップの「起動デバイスの優先順位」で「LAN」を設定しないようにしてください。

●PXE-E53:No boot filename received

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップの「起動デバイスの優先順位」で「LAN」を設定しないようにしてください。

●PXE-E78:Could not locate boot server

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップの「起動デバイスの優先順位」で「LAN」を設定しないようにしてください。

●PXE-T01:File not foundPXE-E89:Could not download boot image

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ブートサーバ上のブートイメージファイルが取得できませんでした。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップの「起動デバイスの優先順位」で「LAN」を設定しないようにしてください。

●PXE-E32:TFTP open timeout

Preboot Execution Environment 実行時のエラーです。ネットワークブートに失敗しました。ブートサーバを正しく設定するか、BIOS セットアップの「起動デバイスの優先順位」で「LAN」を設定しないようにしてください。

Microsoft、Windows、MS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。  
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。  
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2001

このマニュアルは再生紙を使用しています。